

森とワインとゴシックの街 フライブルク



市庁舎



街並み

松山 ⇄ フライブルク

交流のあゆみ

■ 交流のきっかけ

昭和36年、全国市長会で欧米視察した故黒田政一市長が、同じ敗戦国でありながら、復興の意欲に燃える西ドイツに感激、市単独事業で「青年海外派遣制度」を実施することになりフライブルク市が選ばれました。(以後4年間に8名の青年が派遣されました。) 昭和38年にはフライブルク市から3名の青年が松山市を訪問、それをきっかけに結成されたのが松山フライブルク会です。それ以来フライブルク市と市民交流が続けられました。2度松山を訪れたビンゲル夫妻がフライブルク松山会を結成し、両市間の交流の基盤ができました。

■ 姉妹都市締結へ

昭和52年故カイドル市長、昭和60年ベーム市長が来松。昭和61年故中村時雄市長がフライブルク市を訪問、翌62年シュテルンベルク第一副市長ら市民親善代表団の来松で姉妹都市提携の機運が一気に高まりました。

■ 姉妹都市調印

昭和63年10月、フライブルク市では松山市と姉妹都市調印にあわせ日本週間を実施、中村市長、市議会代表、市民代表団が参加して姉妹都市仮調印をはたし翌平成元年4月、松山市政100周年を記念して姉妹都市提携の調印が行われました。



春のシュバゲル



夏のワインまつり



フライブルクの名物
キルシュトルテ(さくらんぼケーキ)



交流訪問団



ホームビジット



ゼーパーク内の日本庭園



秋の移動遊園地



冬のカーニバル



市庁舎前 松山の市章



市庁舎前 フライブルクの市章



民俗衣裳

フライブルクのあれこれ

人 口：約21万人(内、外国籍の人：約3万人)

学生数：約3万人(内、外国籍の人：約4千人)

面 積：約150平方キロ

標 高：市内中心部278m

ライン平野部196m

シュバルツバルト地帯1,284m

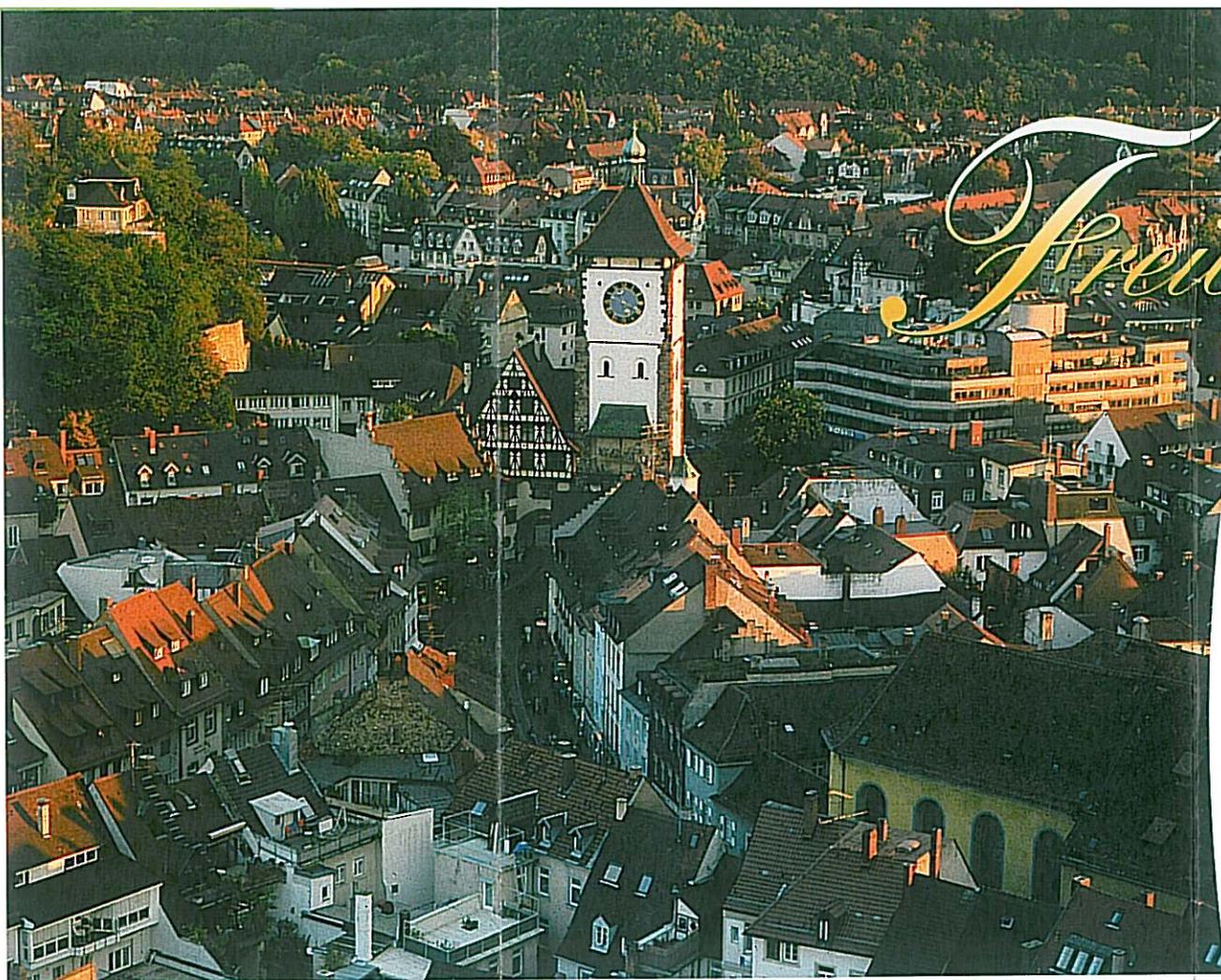
(高低差1,000m以上)

気 候：平地では乾燥して暖かく山地部ではすがすがしいが風が強くやや寒い

年間日照時間：1,883時間(2007年)

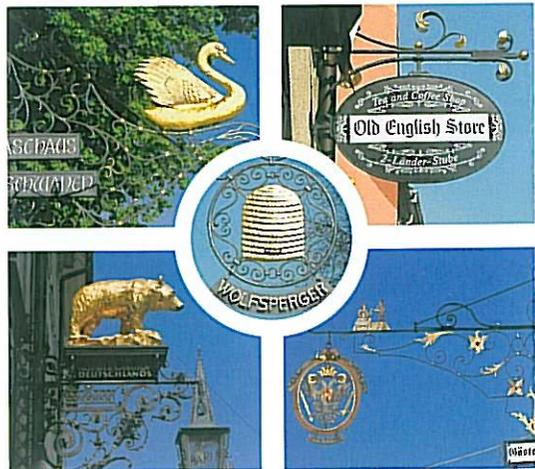
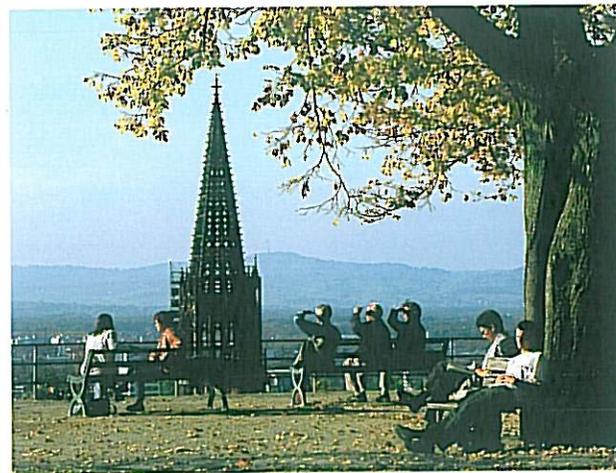
松山市以外の姉妹都市：

ブザンソン(フランス)・インスブルック(オーストリア)・
パドヴァ(イタリア)・ギルフォード(イギリス)・
マディソン(アメリカ)・リボフ(ウクライナ)・
グラナダ(スペイン)・イスファハン(イラン)



Freiburg Zu Fuß

P R O F I L



*フライブルクの歴史と素顔を知る。

フライブルクはドイツの西南端に位置し、人口約22万人、温暖で、ドイツで最も気候に恵まれたバーデン・ヴュルテンベルク州の美しい都市です。国内外から観光客の集まるシュバルツバルト[®]の端に位置し、およそ900年の歴史があります。

ドイツとスイスを結ぶ交通要衝の地バーゼルまで62kmの地点にあり、ヨーロッパを走る国際列車も頻繁で、日本とドイツを結ぶ直行便が一番多く発着するフランクフルト空港まで約290km、鉄道で約2時間の距離です。

フランス・スイスとの国境、ライン川上流にも近く、また、昔からの交通路やシュバルツバルトの銀鉱山にも近かったため、古くから要衝の地として栄えてきました。しかし、こう

した地勢のため、激動のヨーロッパ史の多くを体験し、災禍にも度々見舞われました。特に、第2次世界大戦では、連合軍の大空襲によって市街地の大部分が破壊されましたが、中世以来の文化遺産を継承しようとする市民の熱意によって、古い街並みが再現されました。1200年頃から数百年をかけて完成されたミュンスター（大聖堂）を中心にした、今も中世の雰囲気漂う、素敵なたたずまいの街です。

また、環境政策の進んだ街としても知られており、1992年にはドイツ国内で「環境首都」にも選ばれました。

※日本では「黒い森」とも呼ばれています。



*フライブルクと姉妹都市になったわけ…

フライブルクと松山市との交流の始まりは、昭和36年(1961年)にまで遡ります。当時、産業振興を図っていた松山市が、第2次世界大戦後目覚ましい復興をとげた西ドイツの街へ青年の派遣を目指した際、快く引き受けてくれたのがフライブルクでした。第2回派遣の後、民間の友好団体「松山フライブルク会」が結成され、市民同士で交流が続けられていましたが、昭和50年代(1980年代)になって行政同士の交流も始まり、平成元年の姉妹都市提携に至りました。

フライブルクは、第2次世界大戦が終結した後、“市民同士が交流を深め、理解しあうことで、平和を保つことができる”という考え方から、ヨーロッパ内の都市と姉妹都市提携を進めていました。松山との提携の際には、「距離が離れすぎていて、実質的な交流などできないのではないかと心配する声もあったそうですが、今では数ある姉妹都市の中でも、活発に交流が行われている関係を築いています。



これを観ないと始まらない

フライブルクのお祭り

2・3月 アレマン民族カーニバル

復活祭の40日前に行なわれるため、毎年日付が異なります。冬の厄を払い、豊稔を祈るお祭りで、歴史ある面をかぶり、伝統的な色とりどりのつぎはぎを着て、路地や通りを練り歩きます。



5月 フライブルク春メッセ

見本市会場メッセフライブルクに、移動遊園地がやってきます。

6月 ミュンスターでのバイブオルガンコンサート (9月までの毎週火曜日)

野外音楽祭(7月まで)
市立農場ムンテンホフで、大きなテントを張って開催されます。



7月 ワイン祭り

ミュンスター広場で開催され、地域の様々なワインを楽しむことができます。また、ステージ上では、音楽や踊りなど、多彩な催しが行われます。

7月・8月は、近郊の各地域でお祭りが行われる他、市内の地区ごとにもお祭りが開催されます。



10月 フライブルク秋メッセ

見本市会場メッセフライブルクに、移動遊園地がやってきます。

11・12月 クリスマスマーケット

11月末から12月23日までの間、市役所前の広場で、クリスマス用品が販売されます。

